

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ハンサムな、でも
おろかな王さま



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
また きよか
又はプリントは、許可されています。



イスラエルでリーダーであったサムエルは、人々を裁

ひと ただ
く人として、みんなに正

ただ
しいこと、正しくない

おし
ことを教えていました。

でもね、そのサムエル

とし
もだんだん年をと
ってきました。



そこでサムエルは、^{ふたり}2人のむすこに、^かかれの代わりに
させることにしました。

^{かみ}神さまに仕え、^{つか}

^{ひとびと}イスラエルの人々を裁^{さば}
^{ひと}く人となるようにね。



ひと

けれども、むすこたちは、あまりよくない人たちだっ

かね だいす

たのです。かれらは、お金が大好きなのです。

しゅ つか

かれらは、主に仕えない

じぶん ちから

で、自分たちの力を、

かね

お金をごまかしても

うけるためばかりに

つか

使っていました。



ひとびと

イスラエルの人々は、サムエルのむすこたちがとても

わる

おこな

悪く、ひどい行いばかりしていたのでほんとうにたいへんです。



かね

かんが

お金をもうけることばかり考えているかれらの

さば

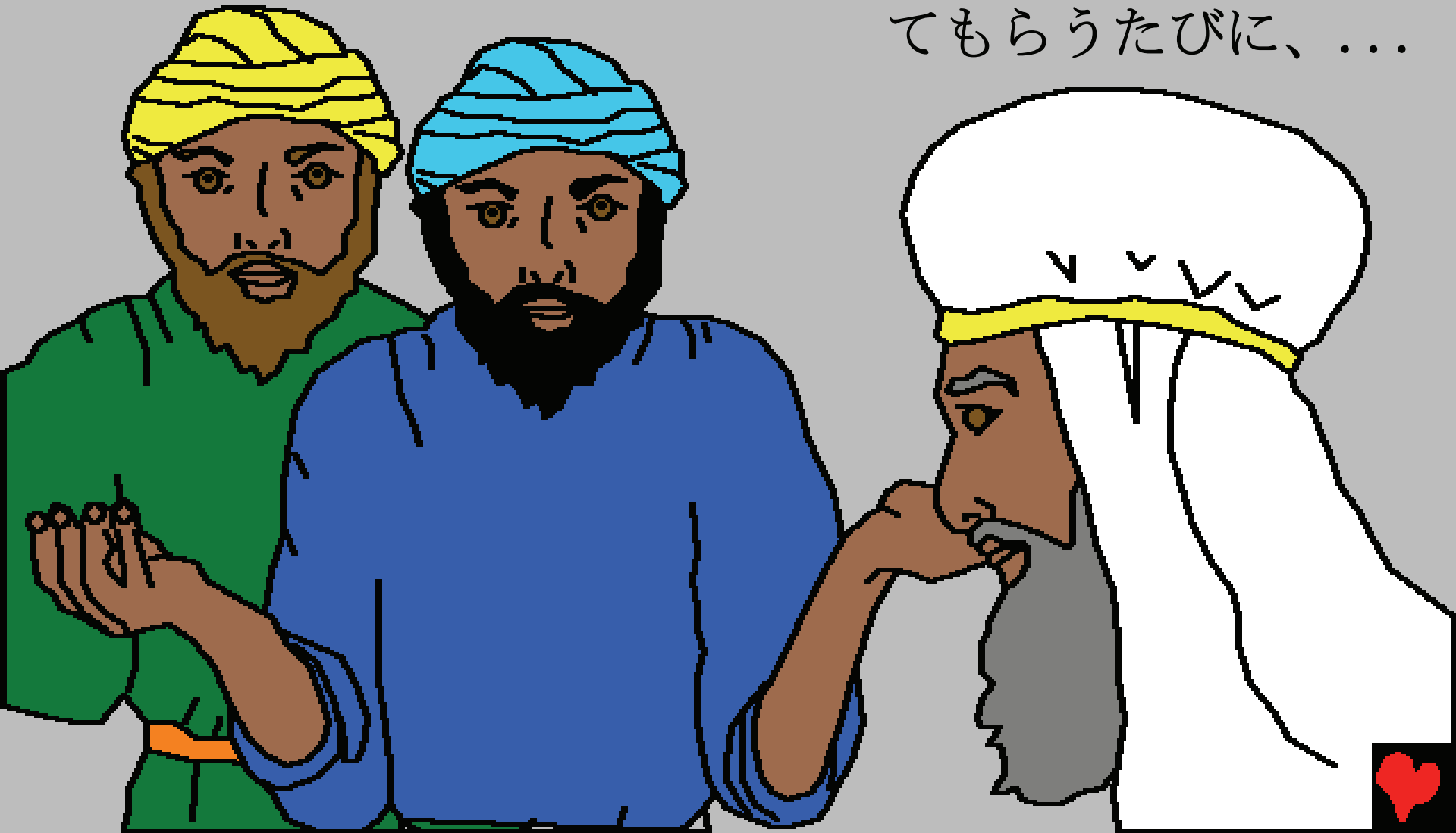
ただ

おこな

ひとびと

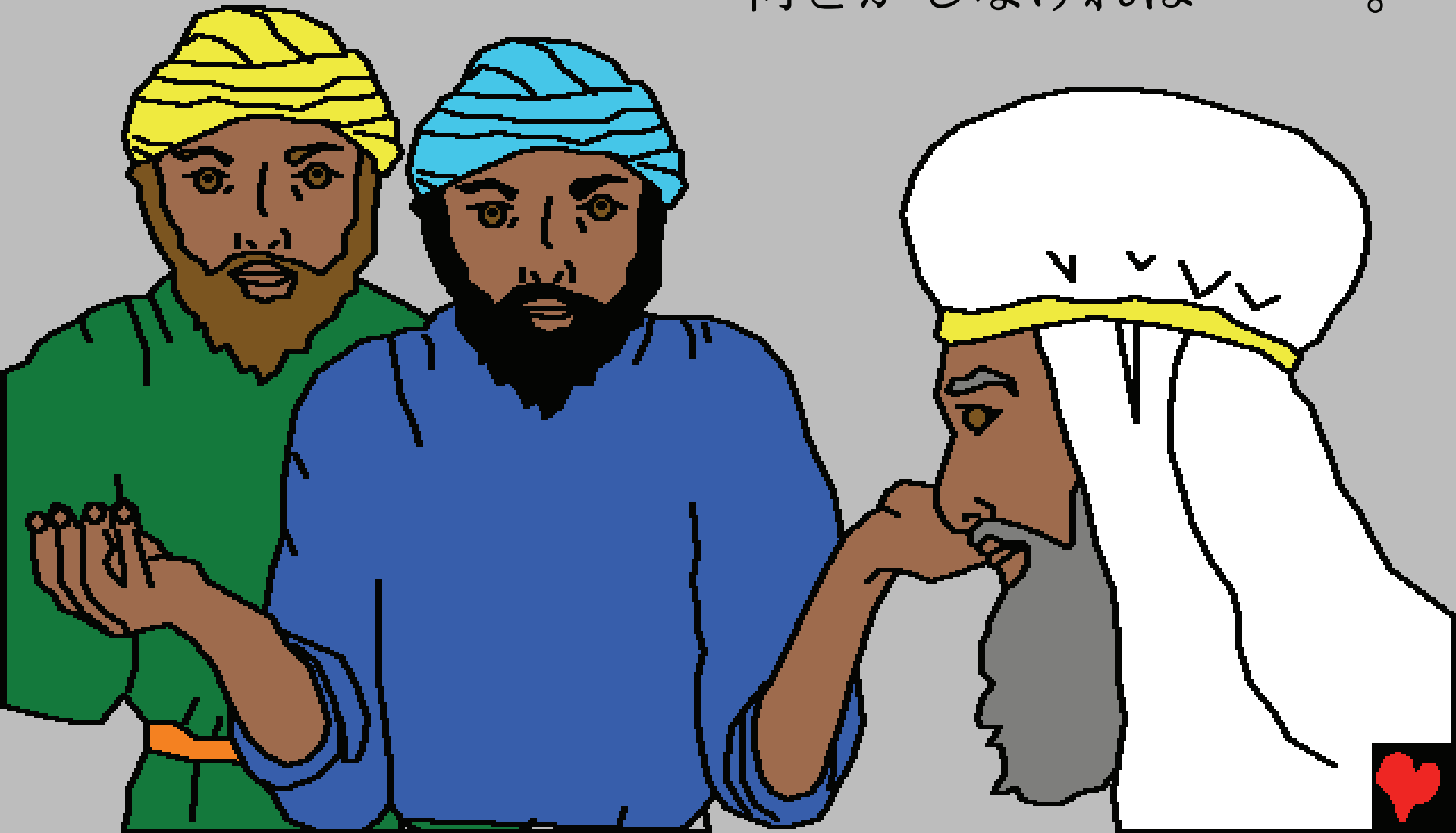
さば

裁きは、正しく行われませんでした。人々は、裁い
てもらったたびに、...



かね はら

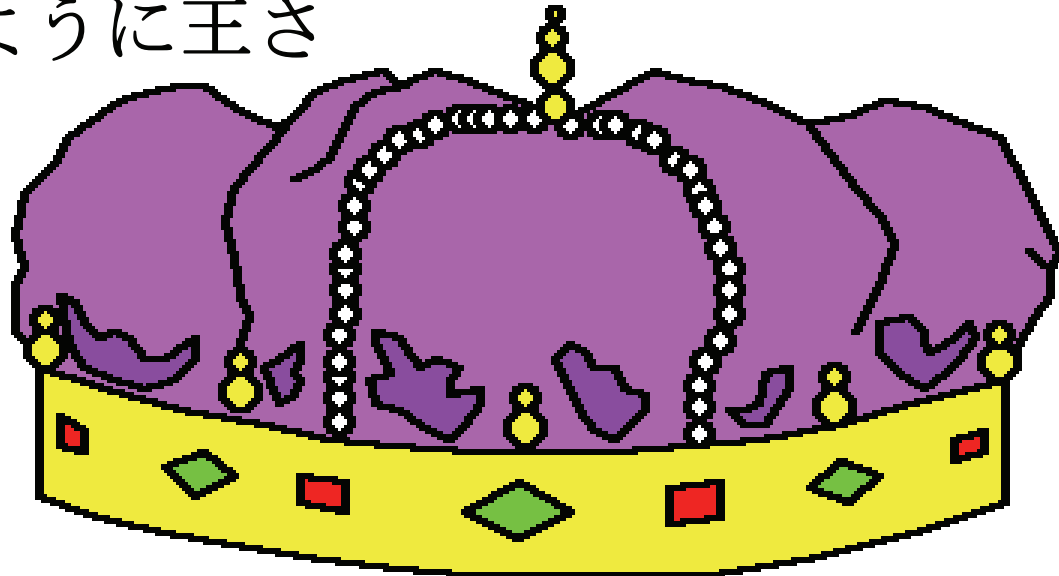
...サムエルのむすこたちにお金を払わなければなりません
せんでした。このままじゃ たいへんですね。
何とかしなければ・・・。



そこで、ある日のこと、お年よりたちがあつまり、
なに
何やらそうだんしてサムエルに
たのみました。



「ぜひ、わたしたちを^{ただ}正しく^{さば}裁く^{おう}あたらしい王さまを、
^{あた}与えて^{とし}ください。」お年より^{なんど}たちは、サムエルに^い何度^{わる}
もつよく^い言いました。かれらは、サムエルの^{わる}悪い^{むす}むす
こ^{じぶん}たちに、自分^{さば}たちを^{さば}裁いて^{さば}もらう^{さば}のは、もう^{まっぴ}まっぴ
ら^らでした。かれらは、^{くにごに}ちょうど^{おな}イスラエルの^{おう}まわりの
国々^{くにごに}と同じ^{おな}ように^{おう}王さま^{おう}
が^まほしか^ま
った^まのです。



これを聞いたサムエルは、怒りましたよ。「イスラエルには、もう王さまがいらっしゃるではないか。」と言ってね。神さまは、何でもおできになって、いつまでもいらっしゃる方です。そして、わたしたちをずっと支配してくださっているのです。その昔、神さまは、エジプトでどれいとなり苦しんでいたイスラエルの人々を、自由にしてくださり、そこからのがれるために、紅海に道をつくり、わたらせてくださったのでしたね。





それから、

かみ

神さまはイ

スラエルにすばらしい

とち

土地をくださったのです。

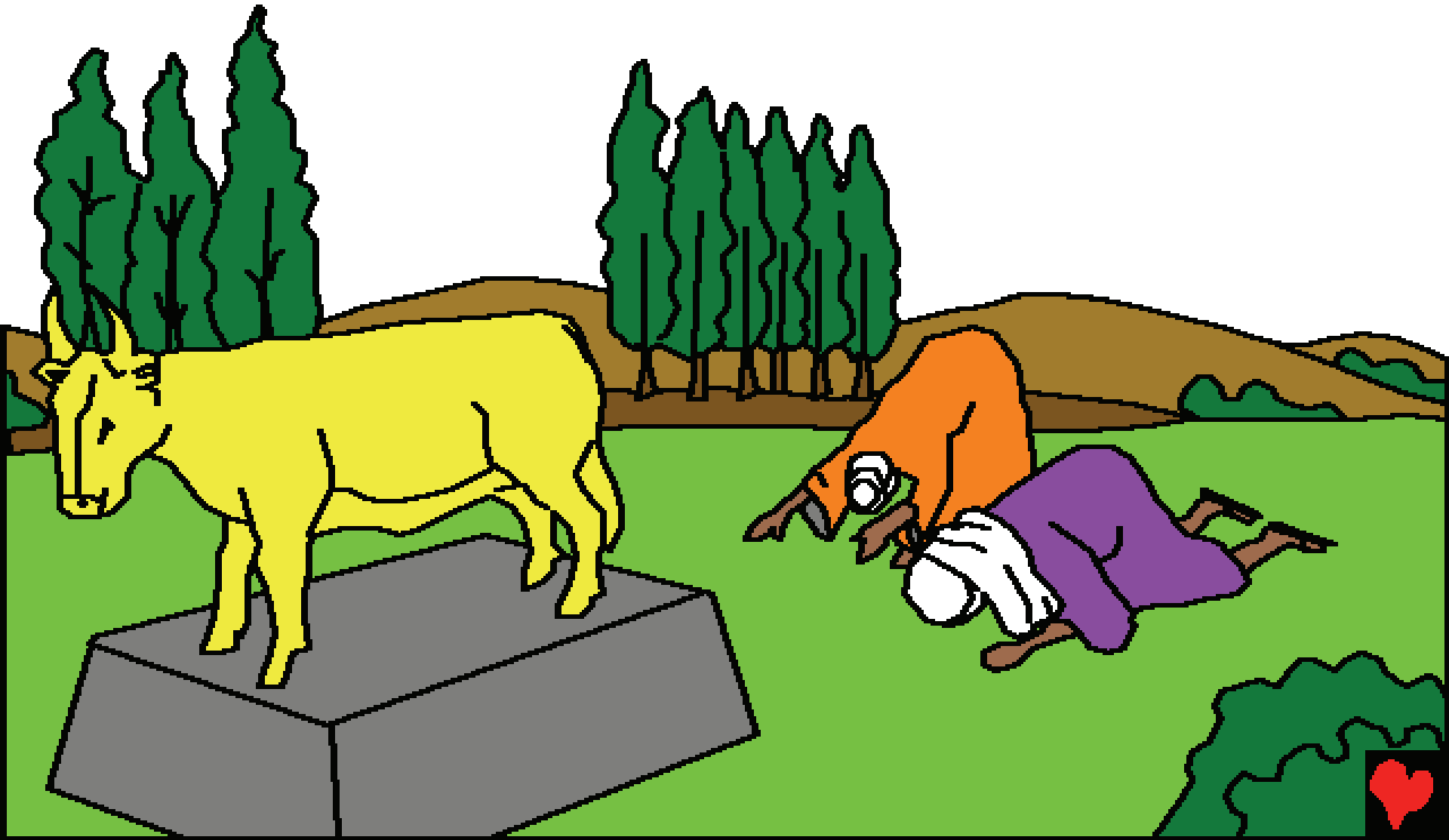
わす

みんなすっかり忘れてい

るようですけれど・・・。

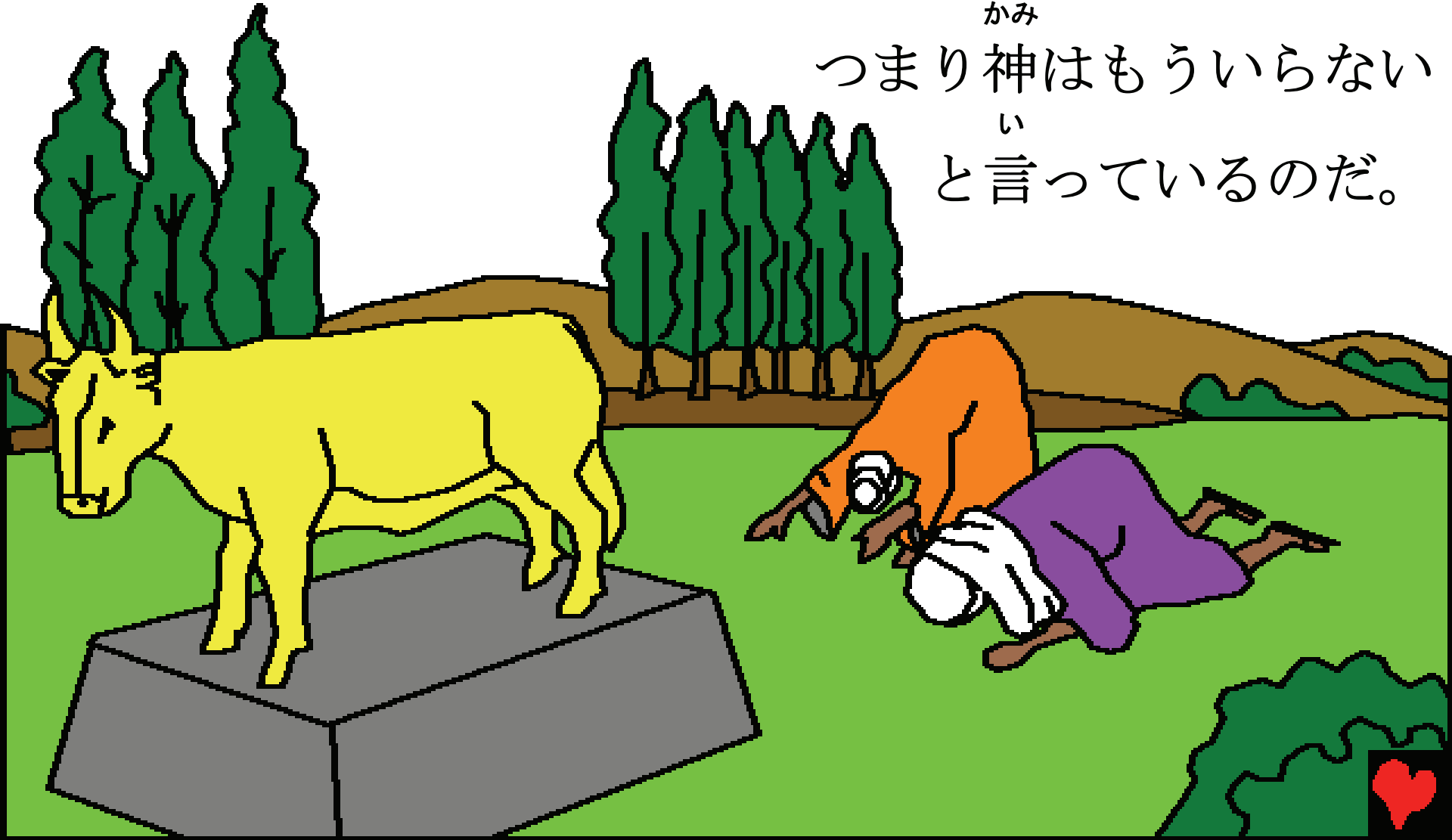


いの
そこで、サムエルは祈りました。すると、
かみ こた
神さまが答えてくださいました。

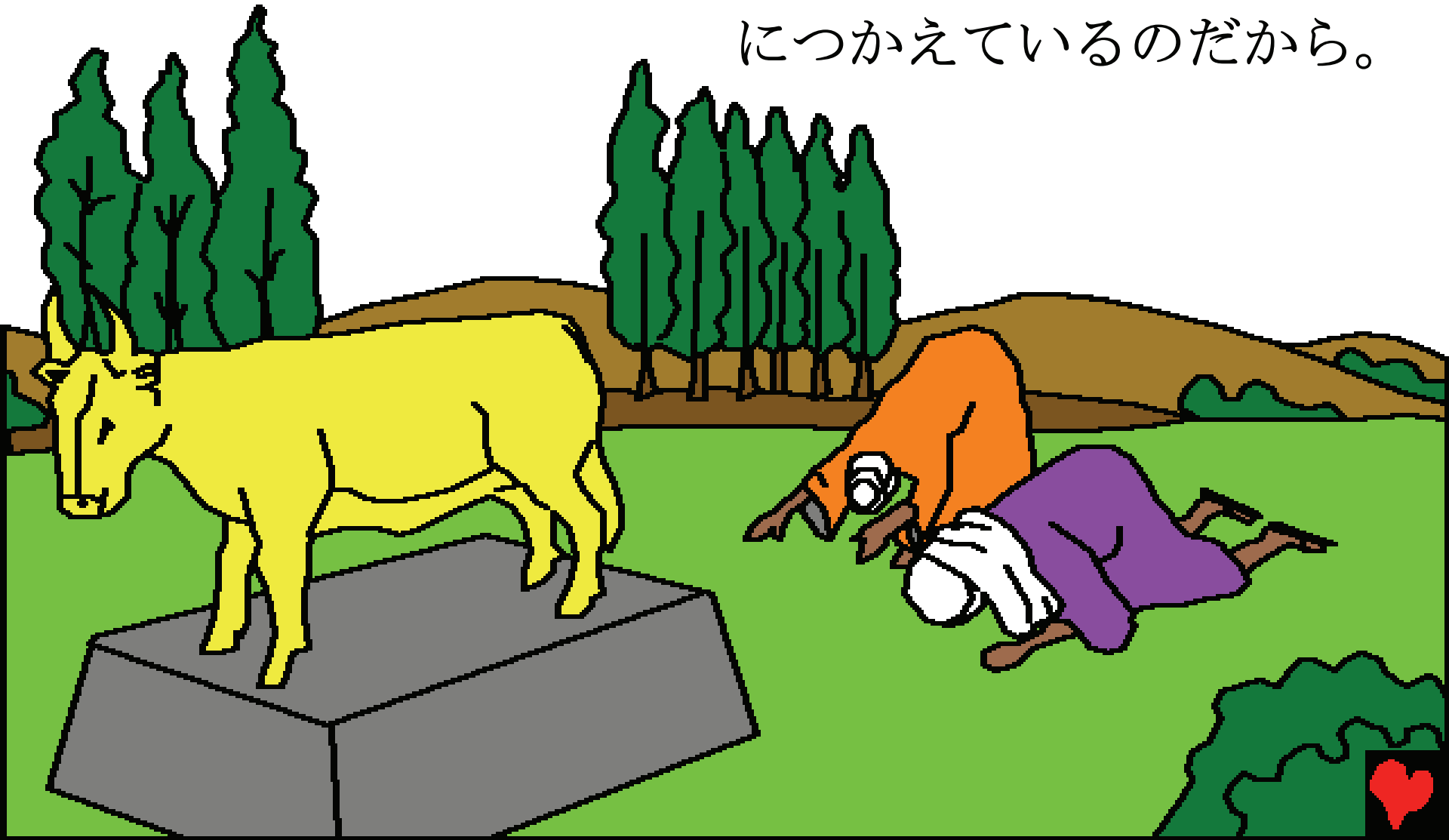


ひとびと

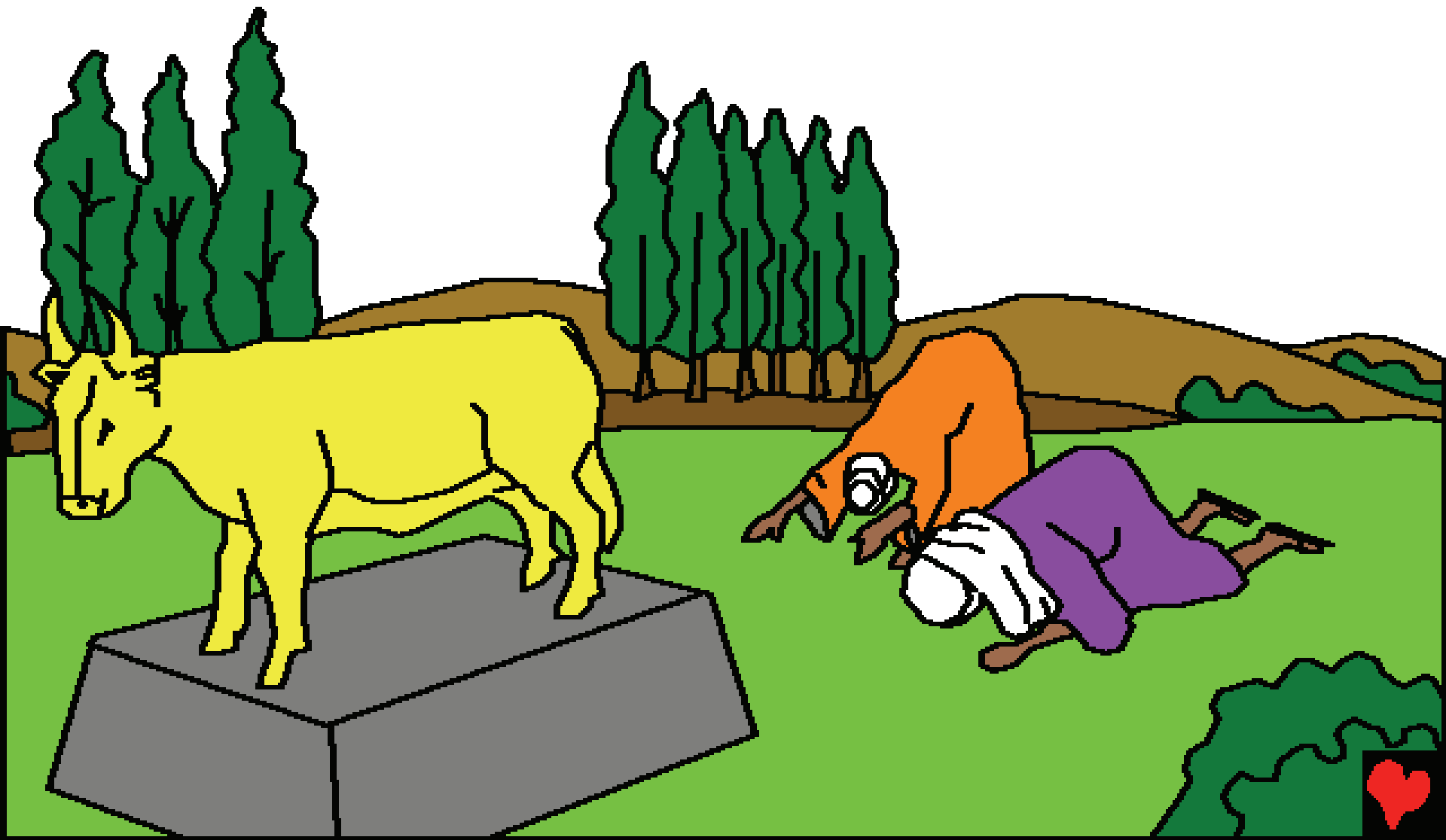
「サムエル、イスラエルの人々は、あなたのことをい
ないと言っているのではないのだよ。わたしのことを、
つまり神はもういら
ないと言っているのだ。」



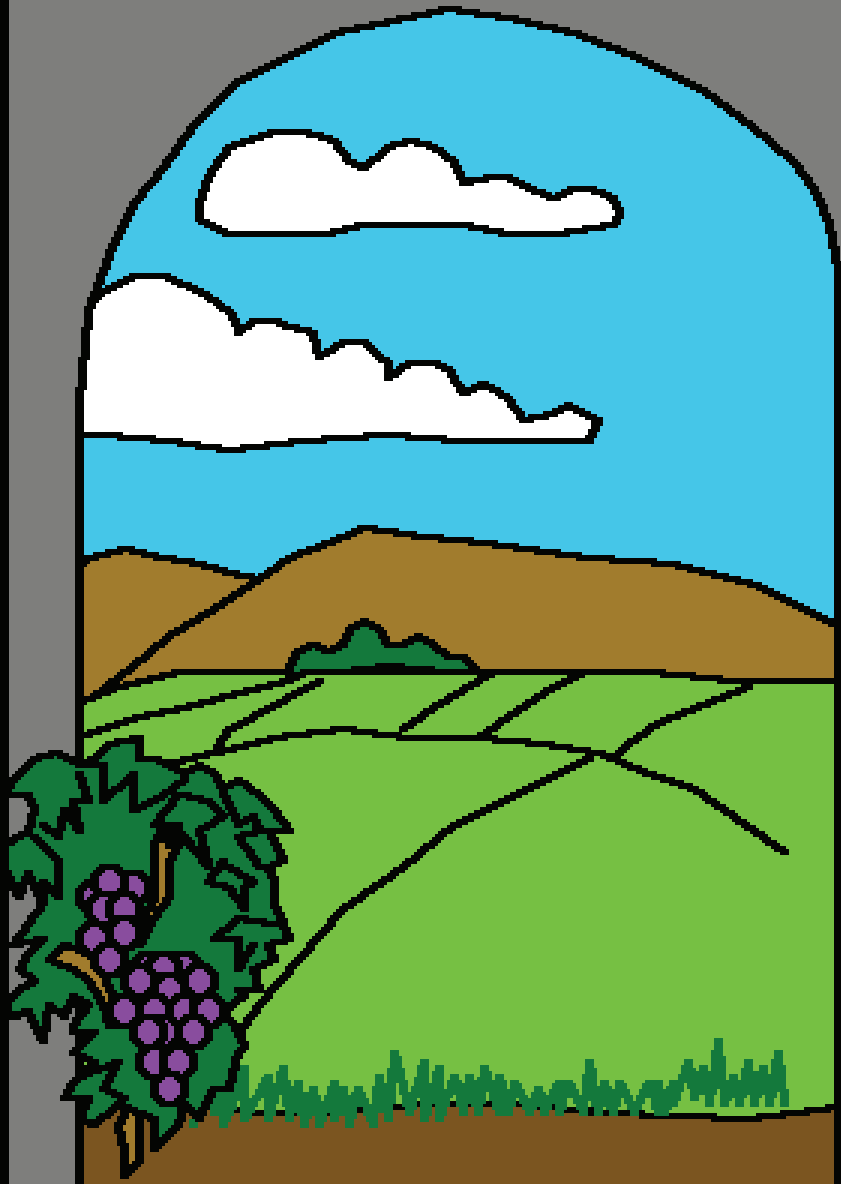
わたしは、もうかれらを支配しなくてもよいのだ。
かれらは今、わたしではなくて、ほかの神
につかえているのだから。



さあ、サムエル、かれらの言いっていることを聞きいて、
おう あた
王おうを与あたえてやりなさい。」



かみ
それから神さまは、

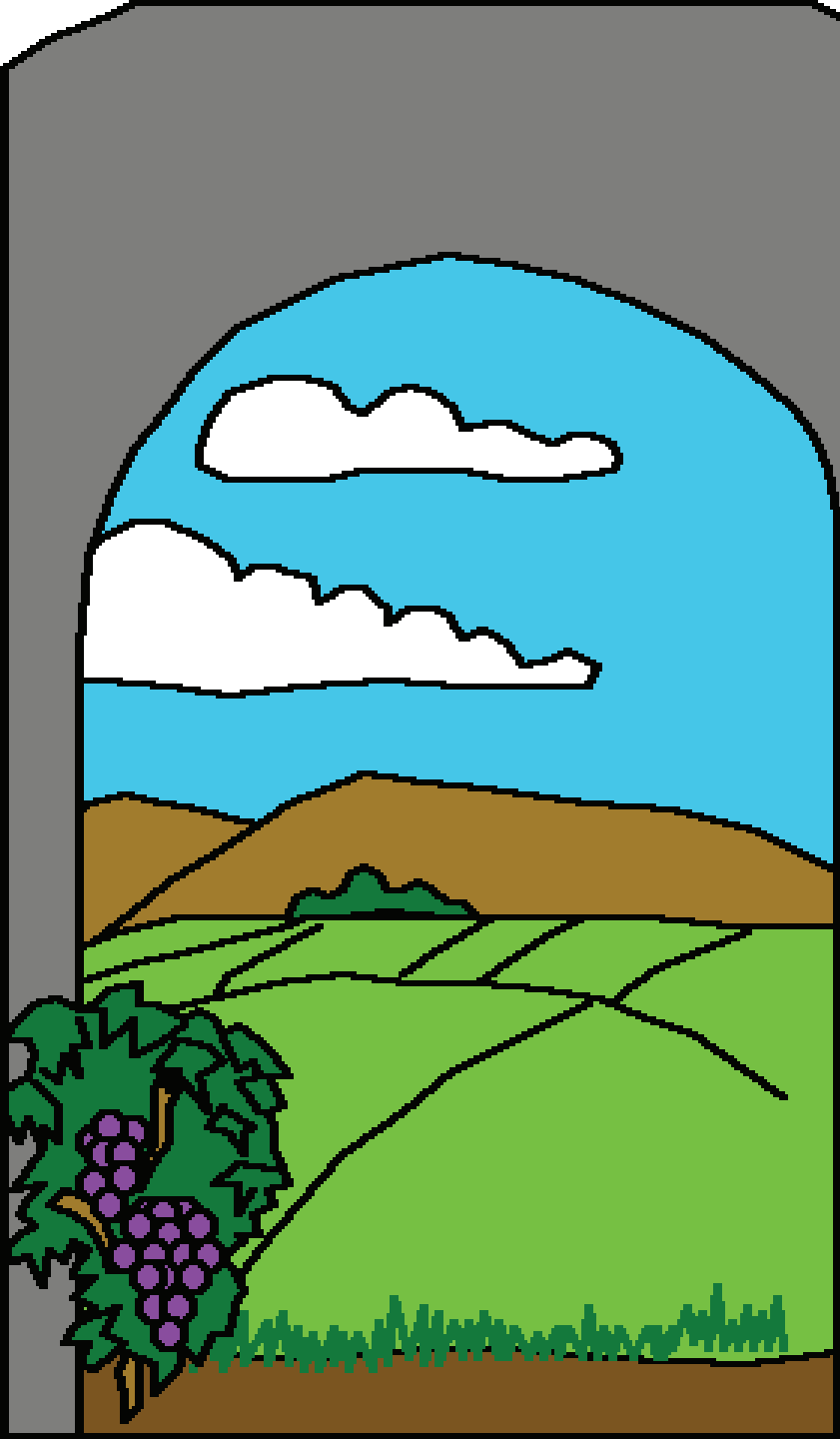


い
言われました。

「サムエル、わたしが
いま い
今から言うことを、
イスラエルの人
し
々に知らせなさい。」そこで、
サムエルは、

かみ
みんなに神さま
からのことばを
つた
伝えましたよ。





ひとびと

「イスラエルの人々よ、

き

よく聞きなさい。

よ

おう

この世での王は、
あなたがたから、

きん

と

ぜい金を取りたて
るだろう。また、

よ

ち

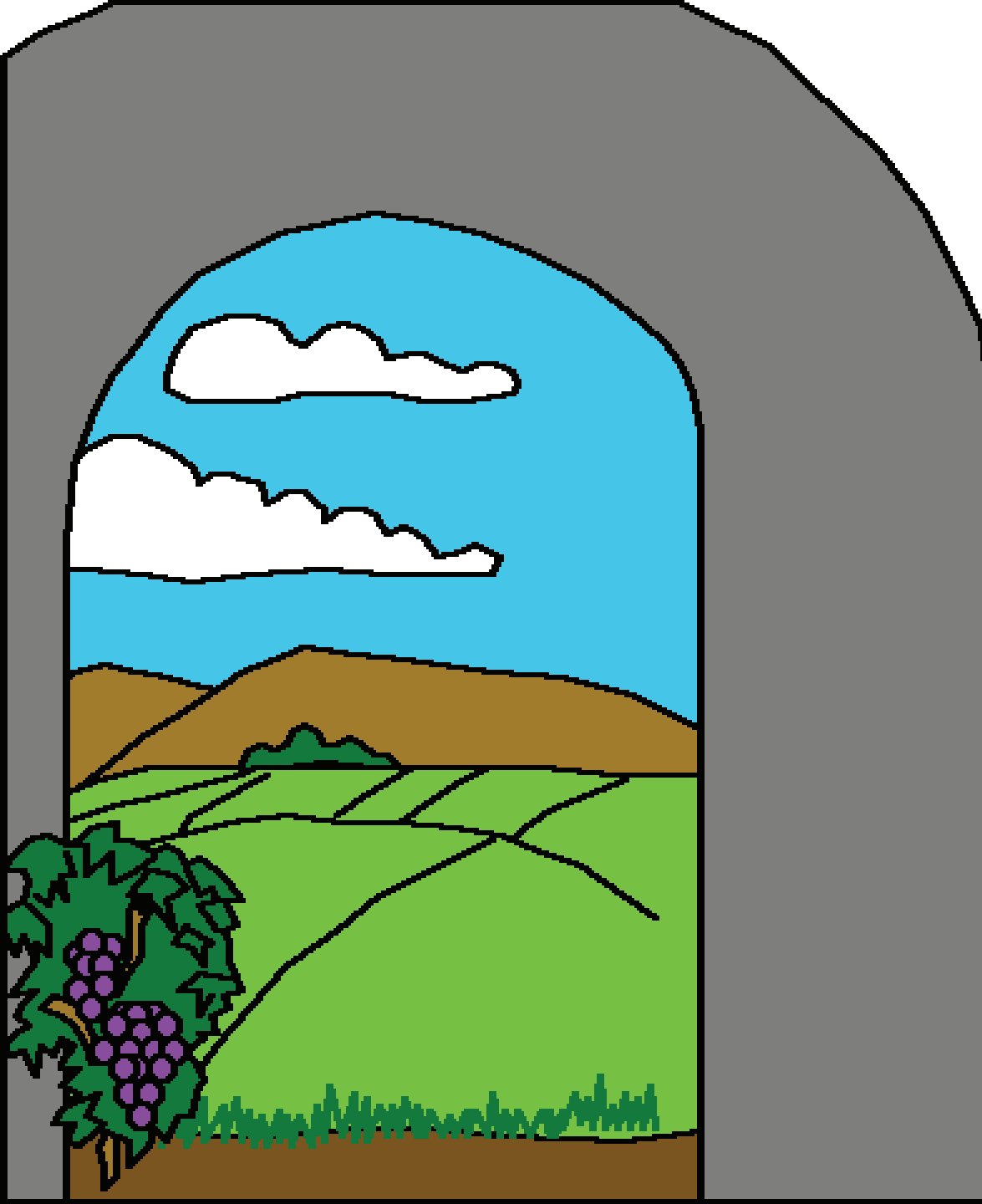
いちばん良い地と

ばたけ

と

ブドウ畑を取りあ
げてしまうだろう。





ぐん
むすこたちは、軍た
はい
いに入らなければな
らないだろう。
そして、
むすめたちは、
おう つか
王のために仕え
なければならな
いだろう。」



おう

ぼたけ

王さまのぶどう畑

それを聞いても
ひとびと
人々は、やっぱ
おう
り王さまが
ほしいと
い
言いはりま
した。

た い きんし
立ち入り禁止





かみ ひとり
あるとき、神さまはサムエルを1人のわか
おとこ ひと あ
い男の人に会わせられました。

ひと
その人は、とてもハンサムで、とてもはずかしがりやで、それにとっても
せ たか じん
背が高い人でした。





ほか

他のだれよりも、あたま1つ分くらいは、

たか

高いようですよ。その人の名前は、

ひと ぶん

ひと

なまえ

サウル。サムエルが、

あ

サウルに会ったとき、

しゅ い

主は言われました。

「このサウルが、

たみ

わたしの民イスラエ

しはい

ルを支配する

だろう。」



サムエルは、主のことばにすなおにしたがい、

サウルをイスラエルの王と

して、かれのあたまに油

を注ぎました。そして、

サムエルはイスラエルの人た

ちの前にサウルをつれてき

ますと、みんなはよろこ

びさけびました。

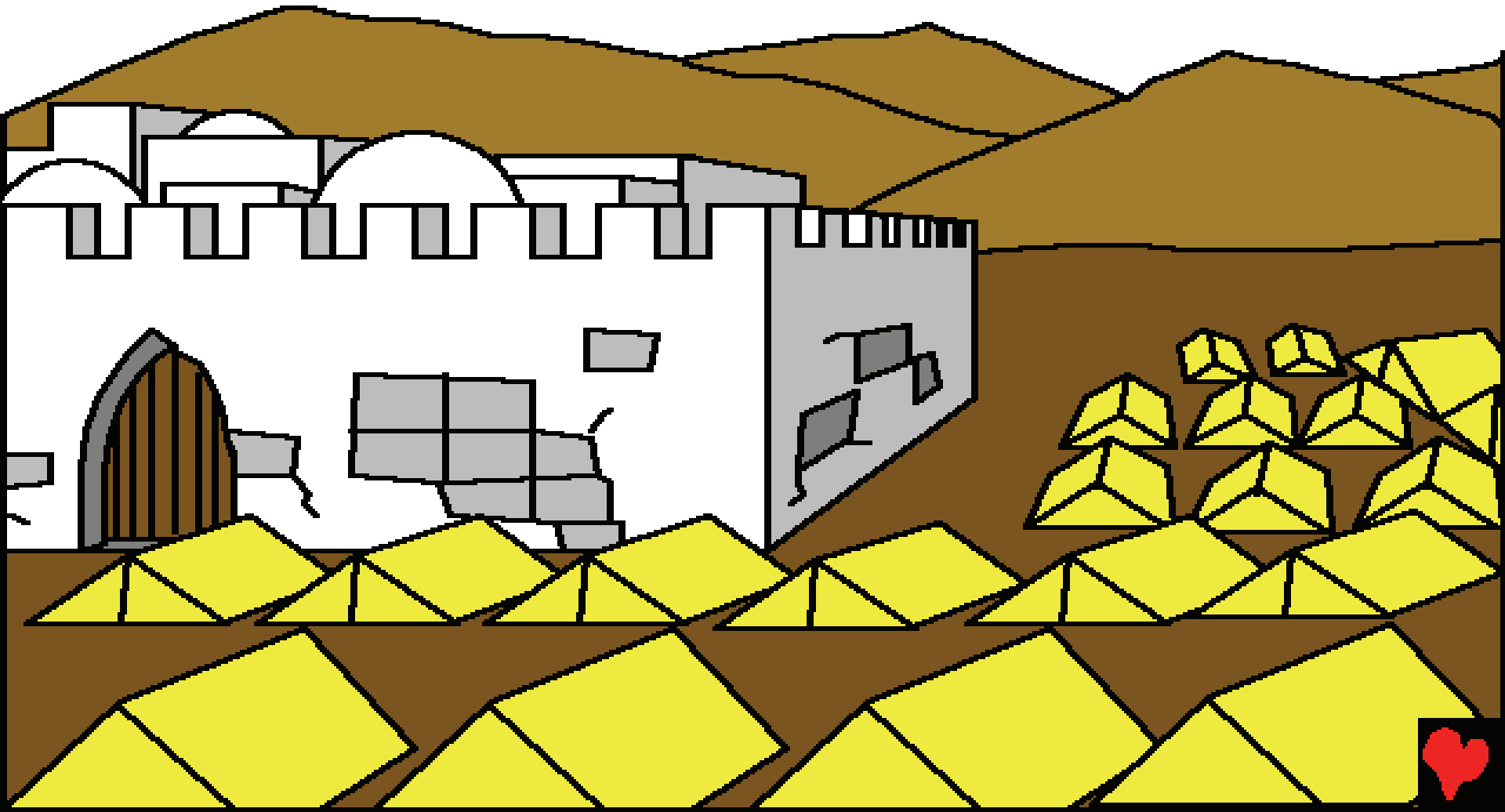
「ばんざい！わた

したちの王

さまだ！」

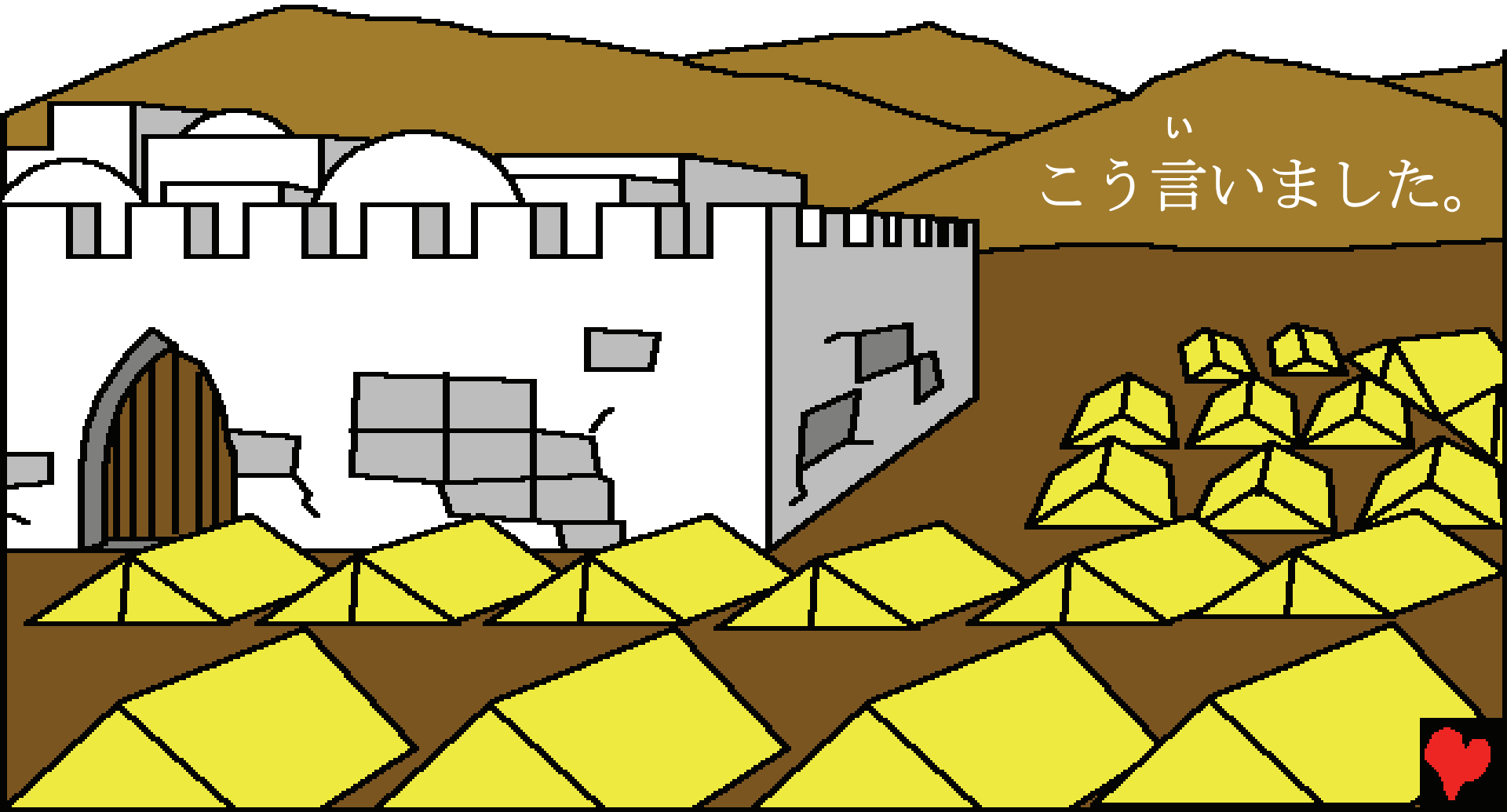


それからすぐのことです。サウル王は、さっそくつよ
おう
い王さまかどうか、ためされる時^{とき}がやってきましたよ。



イスラエルをにくんでいたアマネク^{じん}人が、イスラエル
の^{まち}ある^と町を、取りかこみ、そこに^す住んで^{ひとびと}いる人々をお
どかして、

い
こう言いました。

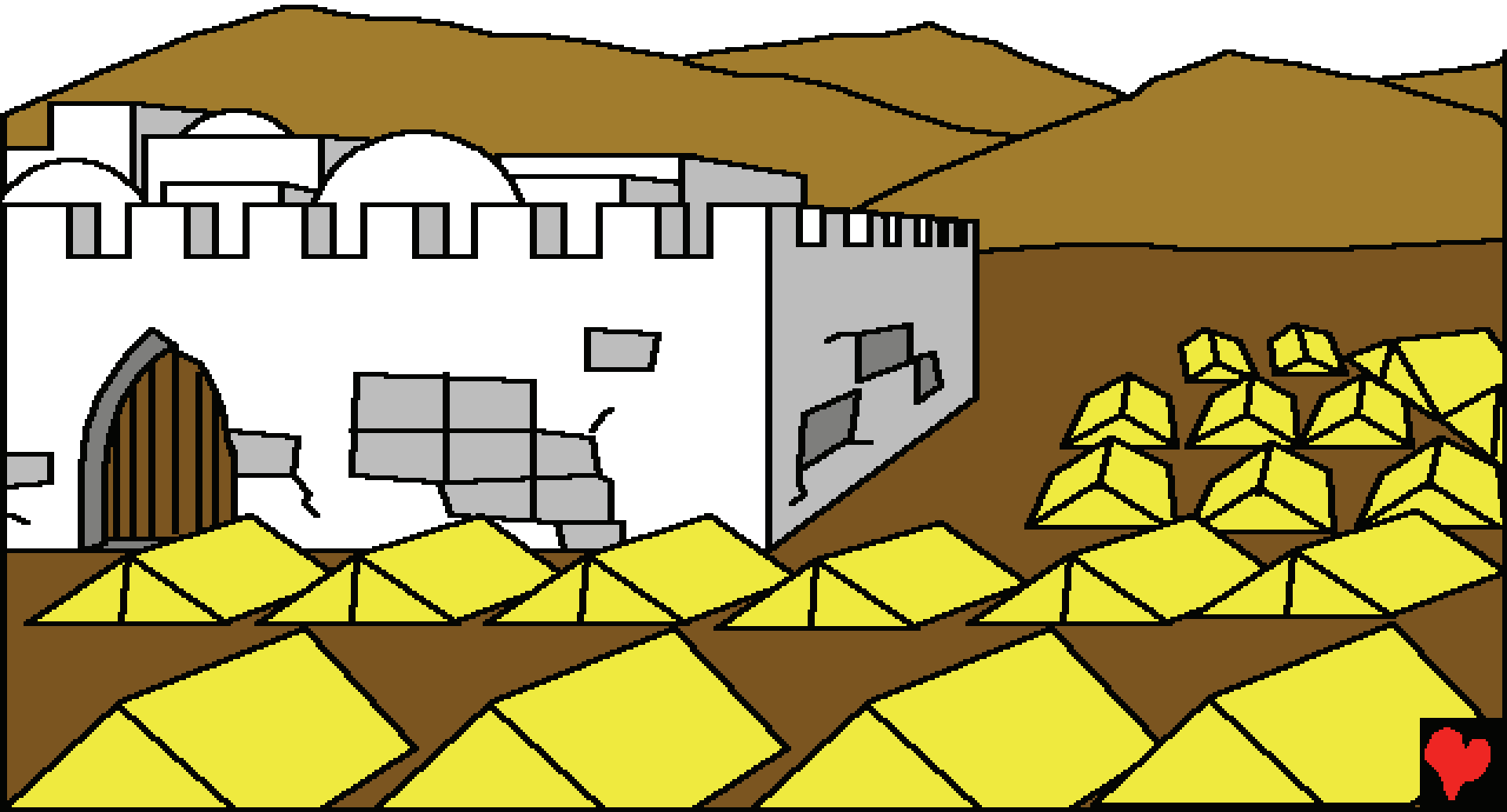


す

おとこ

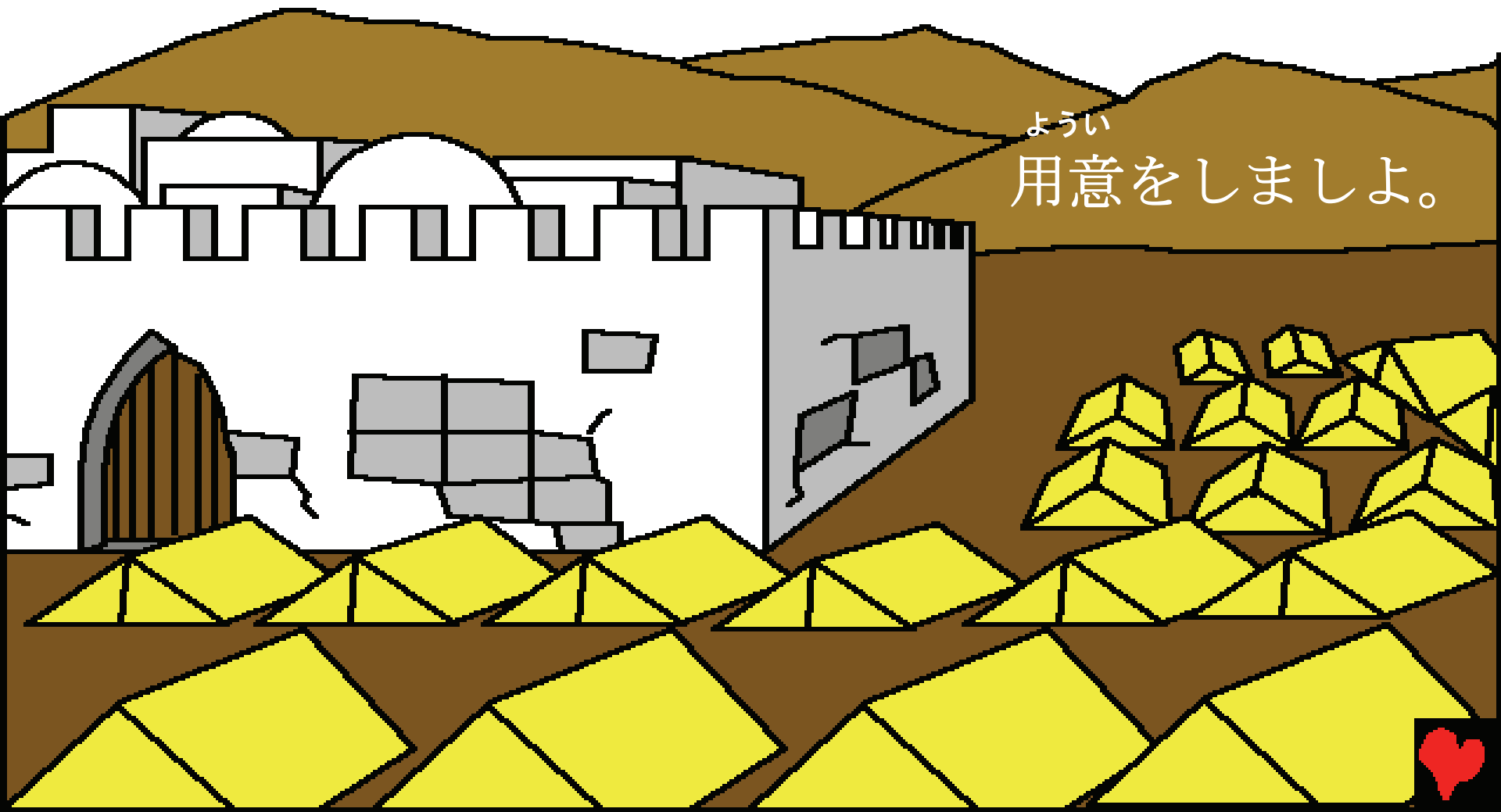
みぎ め

「おい！ここに住んでいる男たちみんなの右の目を、
くりぬいてやるぞ。」なんてひどいことでしょう！



そのおそろしい話は、すぐサウル王のところに伝わり
ました。サウル王はすぐに軍たいをつくり、たたかう

ようい
用意をしましよ。





こうしてふたぐんの軍、アンモンと
イスラエルがたたかいました。さあ、

どちらが勝った
でしょうか。そう、

イスラエルの軍です。

サウル王は、アンモン

人たちをうち負かし、

イスラエルのその町を救
うことができたのです。





それはね、サウル王が、
かみ
神さまからのつよ
れい ちから
い霊の力をいただき
いたからなのです。
い
サウルは、みんなに言い
きょう しゅ
ました。「今日、主がわ
たしといっしょにいて、
すく
イスラエルを救ってく
ださったのだ！」



ひ かみ
そうです。その日、神さまは、サウルにすばらしい

しょうり

勝利をくださいました。けれども、

サウルは、いつも神さまの言

われることをだいいとし、
したがっていたわけ
ではないのです。



ちようどペリシテ人との戦い

の前のことです。ある日、

サウルは自分でかってに、
神さまにささげ物をしましたよ。



かみ

じつはね、神さまへささげものをするのは、
サウルではなくサムエルがするしごとでした。

そしてサウルは、そのことを、

よく知っていたのです。



かみ き
また、神さまがもうすぐサムエルが来るの
ま

でそれまで待つようにと、
おも
思われていることもよくわ
かっていたのです。でも、

かみ
サウルは、神さまにした
がいませんでした。



さて、そこにサムエルがやってきました。かれは、
サウルのしたことを知って言いました。「サウル、
あなたはなんておろかなのだ。」



なんてバカなことをしてしまったんだろう。

かみ しゅ

まも

なぜ、あなたの神、主とのやくそくを守
ることができないのだ。



もうこれからは、

おうこく なが
あなたの王国は長くつづかないであろう。」



じぶん

ちい

つみ

サウルは自分がしたことは、ほんの小さな罪だと

おも

けっ

思ったかもしれませんね。でもね、決してそう

ではないの

ですよ。



かみ

神にしたがわないことは、どんなときでも、

おお おお つみ

大きな大きな罪なのです。



それからしばらくして、^{かみ}神さまはサウルにめいれいしました。

^{ひとびと}「アマレクの人々すべて

^{ひとり}1人のこらずや
つつけてしま
いなさい。」



ところが、このときもサウルとイスラ

ひとびと かみ

エルの人々は神さまのめ

いれいにしたがわず、

アマレクのアガ

おう ころ

グ王を殺さ

い

ないで生か

しておいた

のです。



かれらは、また ^{やく た}ウシやヒツジなど役に立ちそう

^よで良さそうなものだけをの
ものにしておきましたよ。

^{じぶん}こして、自分たち
これらのものは、

^{しゅ}主にささげると
のだから取
っておくのだ
^いと言ってね。



サムエルは、サウルに言いました。「サウル、

かみ

神さまにしたがうということは、
ささげることよりも、もっともっ

たいせつ

と大切なことなのだ。あなたは、

しゅ

き

主のことばを聞かなかった。

しゅ

だから主もまた、あなたの

き

ことばを聞かれない。

あなたは、もうイス

こくおう

ラエルの国王でな

くなるのだ。」



じぶん

そのとき、サウルは自分がほんとうにまちがったこと

き

をしていたことに、気がつきま
した。でも、もうおそすぎた
のです。それからのサウルの

じんせい

人生は、どうなったでしょう。

ちっともしあわせではなかつ
たのです。どうしてって、

しゅ

サウルは主にしたが
おうとしなかったか
らですね。



ハンサムな、でも おろかな王さま

^{かみ} ^み ^{せいしょ} ^{しる}
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

^{きじょう} ^{しょう} ^{しょう}
サムエル記上 8 章 - 16 章

^み ^{ひら} ^{ひかり} ^{あた}
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

^{しへん}
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

